

ちびっこ チャンピオン

「なんでもたべる げんきなこ」

青い鳥保育園のなかよしたち

(上段)

くまがい あかりさん (5さい)

(下段左から)

おの おうきくん (4さい)

ほりえ うたくん (4さい)

のろ きょうへいくん (3さい)

さかもと るなさん (3さい)

にしざき りょうくん (4さい)

いちのへ おうがくん (4さい)



このコーナーでは、元気いっぱいな園児達の作品をご紹介します。

深浦町の花



■福寿草■

深浦町の木



■杉■

深浦町の鳥



■カモメ■



このコーナーでは、お誕生日を迎えたチビッコ達をご紹介します



西崎 凧くん
(姉作) R3/3/16生
「うちのずるすけばんず大きくなあれ!」



岩谷 星舞くん
(風合瀬) R3/3/26生
「いつもニコニコ元気いっぱい育ってます😊」



安田 岳叶くん
(風合瀬) R2/3/6生
「我が家の☆BIG BOSS☆」

草創教育長の「今月の一枚」

美しいと思える

さすが深浦町は「夕陽海岸」です。あちこち絶景ポイントだらけです。私も仕事から帰る途中、夕焼けに心奪われ、車を停めてポツツとながめてしまうことがよくあります。

板画家棟方志功は、写生を終えると風景に手を合わせたそうですが、拝みたくなる気持ち、よくわかります。

例えば、日が落ちてでもなお一層紅い残照、冬の夜空に凍りつくように輝く星の群れ、深く碧く沈む底なしの滝つぼ……。見ているうちに、うっかり魂が引き込まれそうな、ゾワッと身震いする感覚に襲われることもあります。

美を感じる心の根っこには、畏怖とか畏敬とか、そんな感覚が潜んでいるのかもしれない。

ま、そんなことはどうでもいい。私の個人的な感覚にすぎません。詩人相田みつをさんも「美しいものを美しいと思えるあなたのところが美しい」と言ってくれています。美を素直に感受できる自分の感性を喜ぶことにしましょう。

不平不満やねたみ、ひがみ、うらみなどの負の感情は、美・善を受信するアンテナの感度をきつと鈍らせます。

日々、汗水流して誠実に働き、人様の気づかれない感謝し満ち足りている。そんな平凡な充実感が、素直

に美しさを感
じる心を養っ
てくれる気が
します。

子どもがそばにいて、一緒に美しさを味わうことができたら最高ですね。

「うわあ、きれいな夕陽。」
「ホント、いいね。」
かわす言葉

は、その程度でいいと思えます。夕陽に限らず、そもそも圧倒的な美を前にすると、人は言葉を失うものです。感動を芸術の域まで昇華したかったら、その後で

考えればいいでしょう。大事なものは、リアルタイムの美の共有です。

人工物ではない、バーチャルでもない、人間がどうあがいても決して創り出せない絶対美の前に、大人も子どもも共にひざまずき棟方志功のように合掌する。(あくまでもイメージです)

美の共有が、子どもの素直さを育てる。そう信じます。

(教育長 草創 文人)

